

いま あす
～現実を見つめ、未来を紡ごう～ 「生きる力」を育む「学び」の創造

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第8号
2019年12月24日発行

第3回 研究部会のご報告

こんにちは。府立人研事務局です♪皆様、いかがお過ごしでしょうか？
府立人研通信 第8号では、
第3回 研究部会のご報告をさせていただきます。
最終ページの第39回 研究集会のご案内も必見です！
これを読んでくださっているあなた、
研究集会でお会いできるのを楽しみにしております。



第3回 研究部会

11月29日（金） 府立市岡高等学校

教材部会

共に考え、共に学ぶ

～「共生推進教室生の部活動での取り組み」
と「事例から学ぶ教職員研修」～

報告

府立枚岡樟風高等学校
府立柴島高等学校

1つめは、府立枚岡樟風高等学校より「共生推進教室のクラブ活動でともに学び、ともに育つ生徒たち」をテーマにご報告いただいた。共生推進教室の生徒と周りの生徒が軽音楽部の活動を通して、生き生きと交流し、コミュニケーション力を磨き、自ら進んでさまざまな役割を担うようになったこと、また、自分たちの体験をもとに友を想って作ったオリジナル曲を引っさげて大会に出場したこと、他校の軽音楽部員と共に全国大会に出場したこと等、迫力のある報告だった。そのよう



な関わりの中で、「他のクラブ員も刺激を受けて、目標を立て努力し自己実現していく。」という。必要なときに必要な支援を行う生徒たちの精神面での成長がよく伝わった。それを卒業後にどう生かしていくかが今後の課題であるという言葉に深く考えさせられるものがあった。



2つめは、「アサーティブ対応ワーク」という教職員研修の事例報告で、学校現場で教職員が体験しそうなトラブル案件をもとに「あなたならどう言いますか」というグループワークを行った。改善点の提案に NO と返されたとき、怒るのではなく、それぞれの事情や思いがあることをどこまで想像できるかが人間関係作りにおいて重要であること、それは生徒を指導する時にも当てはめて考えなければならないと実感できる意義深い体験だった。

会の最後に、教職員人権研修、人権学習教材等の交流を行った。今、ホットなテーマの教材も多く、大変有意義な交流となった。

ケーススタディ部会 自立支援コースからの発信

～自立支援コース生たちの気持ちを
創作劇で表現～

報告
府立堺東高等学校



府立堺東高等学校の自立支援コース生(通称フレンド生)の、「自分の思いを劇で表現する取り組み」について報告があった。

堺東フレンド生は、2018年度の「ともにいきる障がい者展」で自分たちの日常を創作劇「私たちのスクールライフ」として発表した。内容は、学校生活で思うことや将来の夢、自分の障がいや療育手帳を持つこととどう向き合っているかなどであった。

自立支援コースは「ともに学び、ともに育つ」という共生のあるべき「カタチ」を模索する大阪府独自の取り組みであり、入学後に違和感や疎外感を抱えながら学校生活を送る生徒に寄り添うことが大切だ。今回、フレンド生からの提案で始まった劇づくりは、彼らが自己理解や他者理解の話し合いを通じて学年を越えてつながり、それぞれの個性を考えてセリフをつくり、自分を表現する機会となった。練習を重ねるにしたがって、各々が本番のために頑張る姿から、「演劇教育」の可能性を確認することになった。



また、劇の発表の後、「手帳を持っていても持っていなくても自分は自分です。」というセリフをとりあげ、障がいと向き合うことについて生徒たちと考えを深めていったことを話された。

進路保障部会

進路保障のあり方③
～人権のふるさと 水平社博物館～

講演

駒井 忠之さん
(水平社博物館 館長)

報告

奈良県御所市立^{わかみ}掖上小学校



今回、進路保障部会では、水平社博物館館長の駒井忠之さんより、「熱と光を求めて ー水平社創立の思想に学ばー」と題し、ご講演いただいた。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と1922年、部落差別の撤廃を願い、人間の尊厳と平等を求め、御所市の青年たちが中心となって水平社は結成された。そこから全国水平社創立に至るまでの経緯と水平社宣言の内容、部落差別の現状と差別解消の展望、そして近年の博物館事情等をお話しいただいた。

その後、奈良県御所市立掖上小学校より、「はじめに子どもありき ～子ども本位に貫かれた人権・同和教育をめざして～」と題し、ご報告いただいた。掖上小学校の創立の経緯である学校統合闘争や、水平社運動、教科書無償化運動のお話があった。さらに、掖上小学校の子どもたちの実態や自己変革できる教職員集団の形成について等、人権を基盤とした日々の教育活動

のあゆみを存分に語っていただいた。最後に、「水平社宣言の中にある『人権尊重の理念』を己の軸とし、今後も『教師ありき』ではなく、『子どもありき』の教育実践を積み重ねていきたい」と結ばれた。

今一度、同和教育の総和である「進路保障」の意義を再確認する機会となった。



第 39 回 研究集会のご案内



1月24日(金)午前10時より 府立市岡高校にて開催

日 時:2020年1月24日(金)
10:00~17:00(受付開始 9:30)
場 所:府立市岡高等学校
アクセス:大阪メトロ中央線・JR環状線
「弁天町」駅(東口)から東南東へ約400m

資料代は¥1,000です。
大人教泉南大会へ参加された方は、その参加券についている府立人研第39回研究集会参加券をお持ちください。資料代不要となります。

★お願い **名札とスリッパ**をご持参ください。

別紙【申込用紙】にて、希望の分科会を記入していただき、E-mail または 郵便、FAX にてお申し込みください。
お気をつけてお越しください。お待ちしております。

午前・全体会

人権を基軸とした「道徳教育」とは

講 師:園田 雅春さん(びわこ成蹊スポーツ大学 客員教授)

午後・分科会

第1分科会	第2分科会	第3分科会
子どもの権利 が守られる学校とは	進路保障のあり方 ～学ぶことは、生きること～	『バリバラ』の挑戦 ～マイノリティーが社会を変える～
講 演 原田 薫さん (SAP 子どもサポートセンター 代表)	講 演 前川 喜平さん (現代教育行政研究会 代表)	講 演 森下 光泰さん (NHK 大阪放送局制作部 チーフプロデューサー) 東 佳実さん (障害者自立支援センター スタッフ)

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号府立柴島高等学校内

※ 郵便には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822(直通)

※ お問い合わせはできる限りEメールをご利用ください。お電話の場合は、火曜日をお願いします。

E-mail furitsuinken@nifty.com ホームページ <http://furitsuinken.in.coocan.jp/>